

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成28年度～平成32年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（あばしりとうぶ） 網走東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、網走東部森林計画区のうち、無加川、佐呂間別川、常呂川流域の北見市、置戸町、佐呂間町に所在する約107千haの国有林を対象としている。</p> <p>佐呂間別川地域は、佐呂間別川の集水域等となっている低山性の山地で、明治末期から大正初期の山火事跡地に再生した広葉樹二次林やカラマツ、トドマツ等の人工林で構成されている。</p> <p>集水域となっている河川上流部の森林については、地域の水源となっており、大半が水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>また、幌岩山、サロマ湖周辺は、森林美と湖水の調和する優れた自然景観を有することから、網走国定公園やサロマ湖畔自然休養林に指定されている。</p> <p>常呂川上流地域は、カラマツ、トドマツ等の人工林、トドマツ、エゾマツ、ミズナラ、シナノキ、カンバ類等が混交する天然林及び昭和29年の台風被害跡地のトドマツ二次林などのトドマツ針葉樹天然林で構成されている。</p> <p>河川やダム上流部の森林については、水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されている。</p> <p>また、石北峠やおけと湖周辺は、雄大な森林景観を有し、保健文化機能の発揮が期待されている。</p> <p>常呂川下流地域は、常呂川の下流に位置する緩やかな丘陵地で、カラマツ、トドマツ等の人工林を主体として構成され、丘陵部の森林については、水源かん養保安林等に指定されており、オホーツク海沿岸の森林については、網走国定公園に指定されている。</p> <p>本事業は、これらの地域の特性を踏まえて、森林の有する公益的機能の持続的発揮、また、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に貢献するため、積極的に間伐を推進するとともに、針広混交林化・複層林化等を促進するため、育成複層林へ導くための施業等を推進し、健全で多様な森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網の整備を進める。この場合、土砂の流出、水質汚濁の防止等に配慮し、森林生態系の保全に努めるものとする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%;">502 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>12,348 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>101.4 Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.7 Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>3,412,705 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	502 ha			保育面積	12,348 ha		路網整備	開設延長	101.4 Km			改良延長	0.7 Km	総事業費			3,412,705 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	502 ha																				
		保育面積	12,348 ha																				
	路網整備	開設延長	101.4 Km																				
		改良延長	0.7 Km																				
総事業費			3,412,705 千円																				
費用対効果分析	総便益（B）	28,944,899 千円																					
	総費用（C）	3,981,225 千円																					
	分析結果（B/C）	7.27																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、効率性、有効性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業の振興に資する役割のほか、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

別紙様式7

便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:北海道

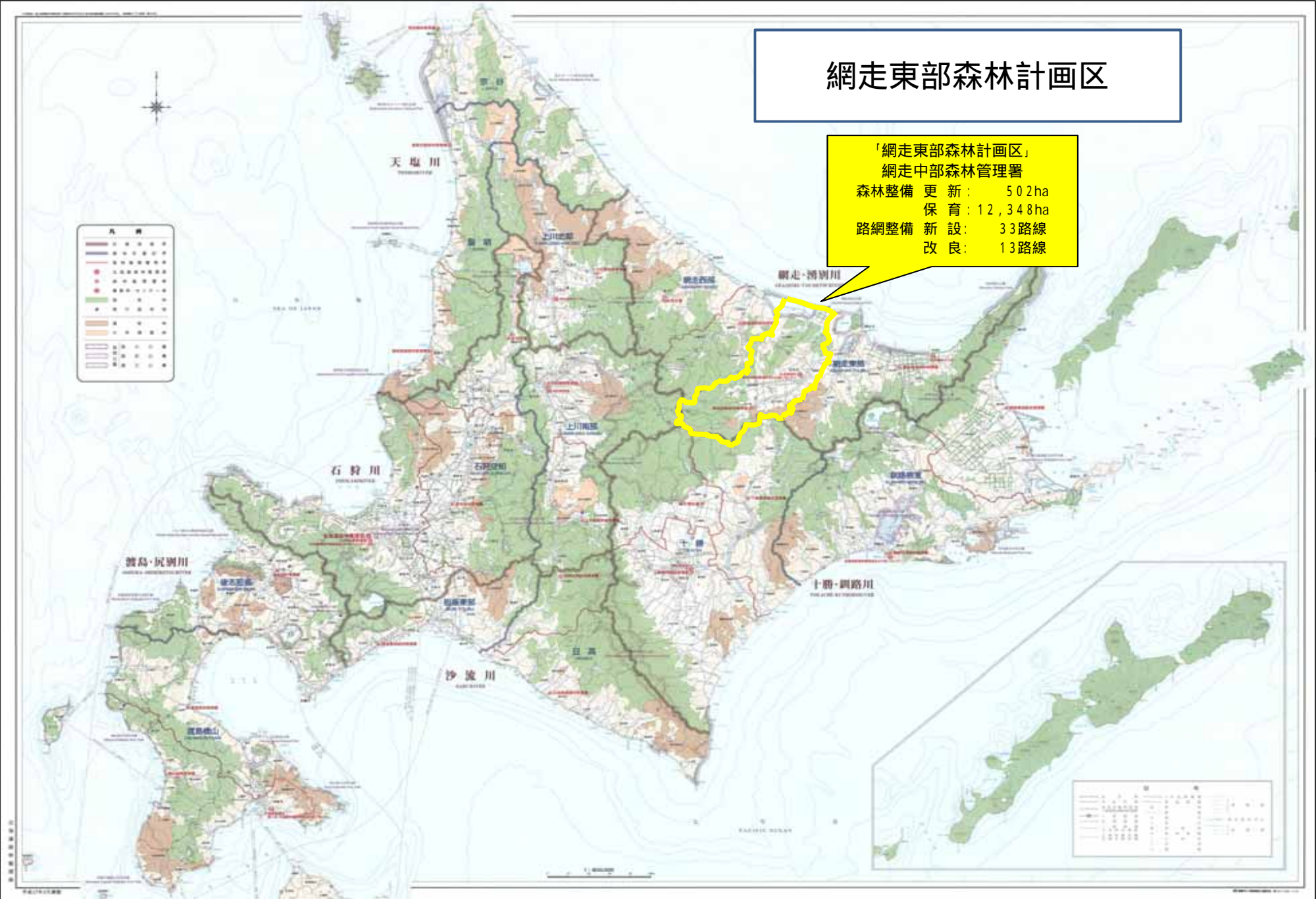
施行箇所:網走東部森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,134,886	
	流域貯水便益	938,762	
	水質浄化便益	1,991,814	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,109,143	
環境保全便益	炭素固定便益	2,626,704	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	2,674,989	
	木材生産確保・増進便益	6,420,304	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3449	
	森林管理等経費縮減便益	60,481	
	森林整備促進便益	984,367	
総 便 益 (B)		28,944,899	
総 費 用 (C)		3,981,225	
費用便益比	B ÷ C =		7.27

網走東部森林計画区

「網走東部森林計画区」
網走中部森林管理署
森林整備 更新： 502ha
 保育：12,348ha
路網整備 新設： 33路線
 改良： 13路線



網走東部森林計画区(網走中部森林管理署)
森林環境保全整備事業

地拵実施前



地拵作業実施後



つる切・除伐作業実施前



つる切・除伐作業実施後



下刈り作業実施前



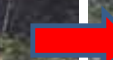
下刈り作業実施後



保育間伐実施前



保育間伐実施後(伐採後)



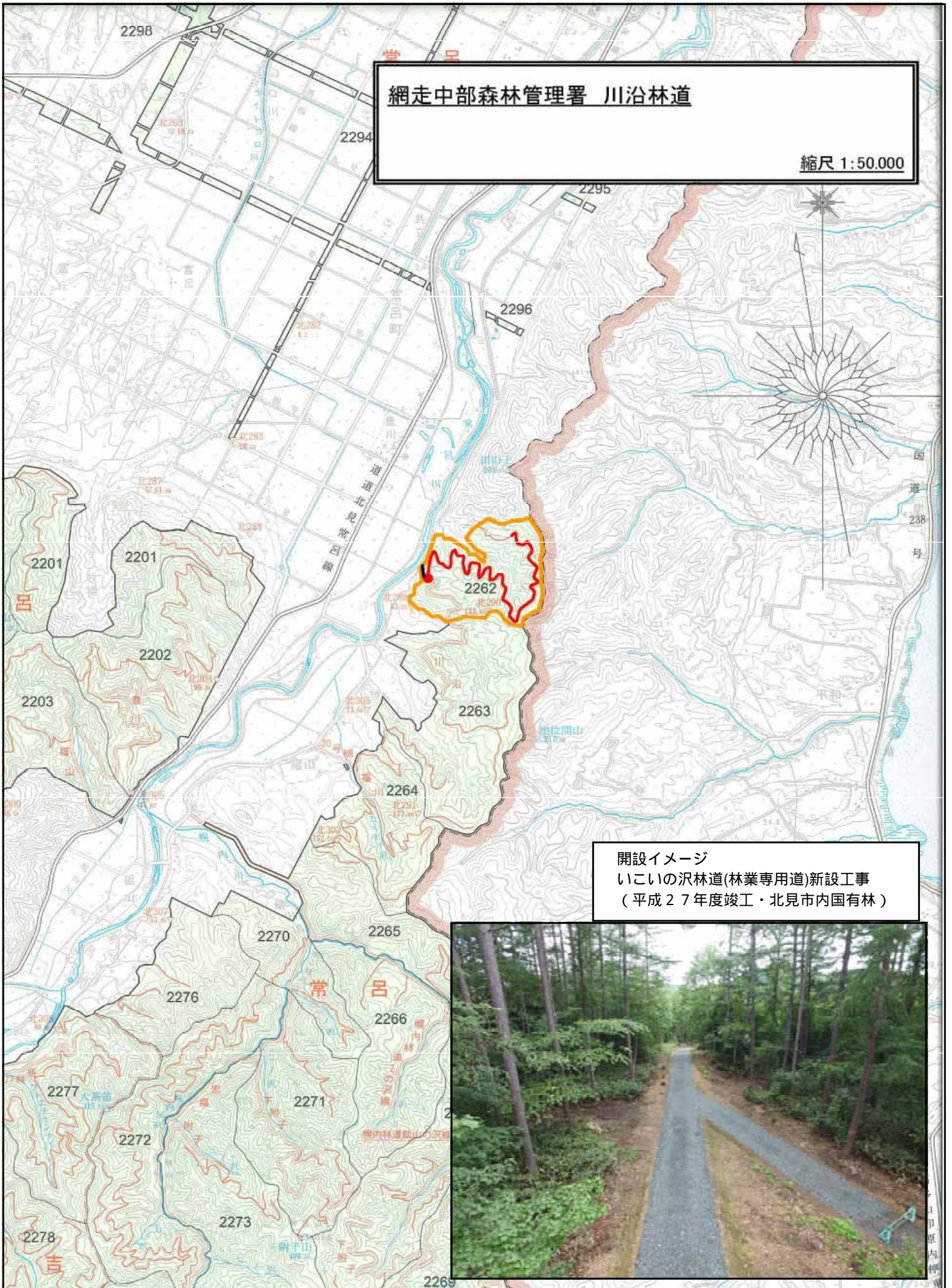
植付作業実施前



植付作業実施後

網走中部森林管理署 川沿林道

縮尺 1:50,000



開設イメージ
いこいの沢林道(林業専用道)新設工事
(平成27年度竣工・北見市内国有林)

